

R6年度

# 下赤羽根自治会自主防災訓練の報告



◇実施日：8月18日(日)10時～12時

◇会場：神明神社境内

◇訓練内容  
：移動式ホース格納箱取扱い

◇参加者：15名

→消防団 7名

→防災リーダー 7名

→民生委員 1名

2/5

茅ヶ崎市は木造住宅の密集している地域が数多く存在するため、火災の延焼危険が高く、地震に備えるには火災に対する事前の消火準備が非常に重要となります。

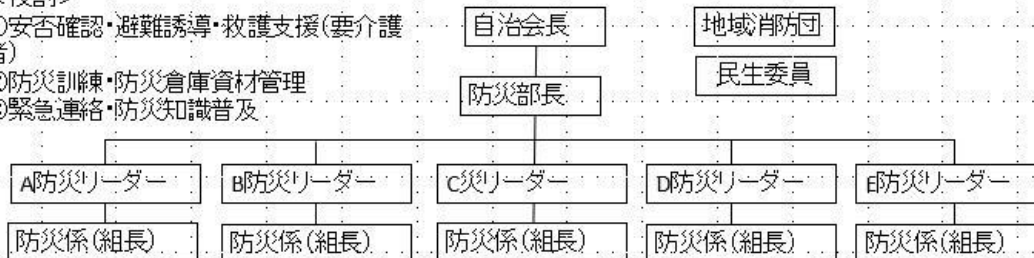
そのため、**震災時における市民の初期消火能力向上を目的に**、消火栓を使用した新たな資機材である移動式ホース格納箱を市内に配備することになりました。

地域の住民同士が連携して消火器、水バケツ、移動式ホース格納箱等の消火資機材を火災の規模に応じて活用し、初期消火活動を実施することが被害を最小限に押さえる最も効果的な方法となります。

## 自治会 自主防災組織図

<役割>

- ①安否確認・避難誘導・救護支援(要介護者)
- ②防災訓練・防災倉庫資材管理
- ③緊急連絡・防災知識普及



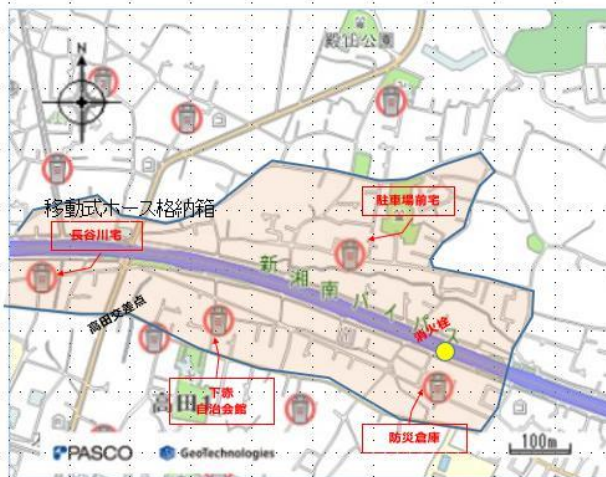
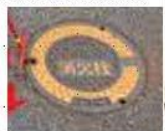
## ■ 移動式ホース格納箱と設置個所図

3/5



格納されているもの

水の取り出し場所



## ■ 訓練風景写真



## ■ 訓練結果のまとめ

### <良かったこと>

- ① 消防団方の協力により安全に訓練を終わることができた
- ② 参加者全員が真剣に取り組み解らないこと等質問し自主性が確認できた
- ③ 一つ間違えば重大事故となる訓練であったが無事故で終わることができた

### <今後の改善点>

- ① 防災リーダーは消防団の力を借りなくても機器の設置から放水までできる訓練が必要  
(実災害時は消防団は不在になるため)
- ② 訓練対象者の拡大が必要  
→自治会役員 →自治会内の各団体等
- ③ 訓練参加服装を決める。ヘルメットと防災チョッキ着用等

### <次回訓練内容>

- チェーンソーの使い方

END